

2005年10月23日 朝刊11版 11面



東京・神

研究室に高野さんを訪ねる

田神保町を舞台にしたサイト「田神保町古書店」が、将来は新刊書店も盛り込まれるみたい」とサイトを見ながら説明してくれました。特徴は目指す古書店をジャンルやこ

<http://jimbou.info/>

と、「古書店が先行しましたが、将来は新刊書店も盛り込まれるみたい」とサイトを見ながら説明してくれました。特徴は目指す古書店をジャンルやこ

とば、文章から検索できる機能にあります。地図に約160店の古書店が表示され、店ごとのインタビューが出てきます。高野さん発案の「3000円の予算でこんな本が買えました!」もあり、なかなか楽しい。

「本の街」のサイト

「連想出版」の代表は国立情報学研究所の高野明彦教授が務めています。在庫冊数1000万冊を誇る神田神保町は目と鼻の先にあり、お隣同士が得意分野を生かして手を携えた格好です。

「今のところ書籍データは10万冊ほどですが、各店のイチオシばかり。活性化のお手伝いができれば」。28日11月3日には恒例の古本まつりも開かれ、本の街はにぎやかな秋を迎えます。(俊)